

おはなし【うこんさん うこんさん!】 — 子どもたちのために —

- 「うこんさん、うこんさん! どうして、まいあさはやく、きょうかいで、おいのりされるんですか？」

それはね。イエスさまが、そのようにおしえてくださったからなんだよ。

デウスさまのことを、まずいちばんにきなさい。なんでも、たいせつなことはすべて、じぶんのちからだけで、やっているんじゃないんだよ。

デウスさまをいちばんにして、いのって、ちからやちえをいただいて、やっていきなさい。

そうしたら、デウスさまからあいされて、しゅくふくされて、その日、その日をすごしていくことができるんだよ、ってね。

- 「うこんさん、うこんさん! たかつきのおしろって、どんなおしろだったんですか？」

わたしがじょうしゅ（城主）になるまえに、みんなやけてしまってたね。またいちから、つくっていったんだよ。みんながよく、ちからをあわせてくれて、おほりもりっぱにしたよ。（24メートル）

てんしゅかくは、3かいだて。でも、そこにすんでいたわけじゃないよ。すぐそばのおうちにすんでいたんだよ。

ひがしときたとみなみに、おしろにはいれる門をつくったよ。

きょうかいも、みんなでたてたよ。

デウスさまをあいし、あいされて、イエスさまのように、ひとびとをあいし、あいしあって、たがいに、ごたいせつにしあうたかつきの町になってほしいとおもって、いのりながらやってきたんだよ。

- 「うこんさん、うこんさん! たかつきの町では、たくさんのひとたちが、キリシタンになっていったんですよね？」

そうなんだよ。デウスさま、イエスさまにかんしゃしているんだよ。10人のうち、7人のひとたちは、キリシタンだったんだよ。

すべて、せいれい（聖霊）なるデウスさまのおはたらきです。デウスさまが、すくって、おわりのないいのちをあたえてくださったんだよ。

わたしたちは、いのりながら、せいしよのおしえどおり・デウスさまのおしえどおりにするようにしてきただけなんだよ。

デウスさまが、いっしょにいてくださって、わたしたちをしゅくふくし、わたしたちの町をしゅくふくしてくださったのです。

- 「うこんさん、うこんさん！ マニラって、どんな町なんですか？」

日本のくにをおわれてきたわたしたちを、キリストのごたいせつ（愛）をもって、あたたかくむかえてくれたのが、マニラの町の人たちだったんですよ。

フィリピンのかくに、ルソンというしまにある町です。

“イントラムロス” といって、じょうへき（城壁）でかこまれたところにあんないされ、かんげいをうけましたよ。

キリストきょうをしんじているということで、日本のくにをおわれてきたわたしたちだったんだけど、この町では、はнтаいに、わたしたちがキリストきょうをしんじているクリシタンだということで、キリストをもてなすようにして、だいかんげいしていただきましたよ。

- 「うこんさん、うこんさん！ “ほんのうじのへん” で、おだのぶながさんを、あけちみつひでさんがたおしてしまいました、どうおもわれますか？」

ほんとうに、びっくりぎょうてんしてしまいました。ことばでは、うまくいえないほどです。

あけちみつひでさんのことは、ひごろから、りっぱなおかただとおもっていたので、しんじられないことでした。

みつひでさんにも、いろいろわけがあったんでしょうけれど、あのようなことは、わたしには、クリシタンとして、とてもみとめることはできません。

のぶながさんのことかというと、いま、みだれてたたかいのつづいている日本のくにを、ひとつにまとめてくださるかたではないかとおもっていたので、ほんとうにざんねんです。

みつひでさんとは、やまざきというところで、たたかうことになってしまいました、ほんとうに、おいしいおかたをなくしてしまうことになってしまいました。

